

ネイチャーウォッチングだより

本今年度も三河の全域から 1600 組あまりの応募があり、この観察会への関心が高まっていることを大変うれしく思います。7月22日(土)、真夏の日差しが降り注ぐなか、岡崎市少年自然の家を会場にA日程第1回のネイチャーウォッチング「めざせ 虫博士」を開催しました。25組の親子72名が参加し、昆虫のことを知り、トンボやバッタなどの採集を体験しました。

講師に、日本昆虫学会の鈴木栄二先生をお招きし、昆虫の体の特徴や捕まえ方を教えていただきました。「足が6本、羽が4枚。6・4で虫(むし)なのです」「2匹のトンボがつながっているときは、オスが前でメスは後ろです」など、なるほどと納得させられる楽しくてわかりやすい説明でした。「ダーウィンが来た」というテレビ番組に関連し、ウスバキトンボという南から飛んでくるトンボの移動ルートをマッピングで調べているという話は、実に興味深い内容でした。また、先生がしかけたトラップ(罠)に入ったカブトムシやカナブンも見せていただき、トラップ作りにも関心が高まりました。



鈴木先生の昆虫についてのお話

講話の後は、いよいよ野外に出て昆虫採集体験です。鈴木先生から示されたミッションは信号の3色のトンボ(赤:ショウジョウトンボ、黄:キイトンボ、青:シオカラトンボ)



キイトンボを捕まえたよ!

を見つけることです。「へイケの沼」という池の周りで、親子で一緒にトンボ探しや昆虫採集が始まりました。池には、真っ赤なショウジョウトンボやシオカラトンボ、キイトンボがすぐに見つかりました。モノサシトンボを見つけた子もいました。空にはウスバキトンボが舞っていました。うまく捕まえた子は大喜び。教わった方法で網をつまみ上げ、しっぽを持って虫かごに入れて、トンボの姿を確かめていました。

昆虫採集体験を終えるとログハウスに戻り、トラップ(罠)作りをしました。鈴木先生からペットボトルで簡単に作る方法を教えていただき、親子で協力して作成しました。カブトムシやクワガタムシには、バナナが最高のえさだそうです。さっそく仕掛けてみようという声が聞かれました。



親子で一緒にトラップ作り

最後に、ご協力いただいたアンケートから感想の一部を紹介します。

虫取りができ、珍しい虫を見ること(捕まえること)ができ、夢のような場所だった。楽しかった。(子)

虫の捕まえ方やわなの作り方とかいろいろ教えてくれて楽しかった。(子)

教えてもらったやり方でやってみたら、自分でトンボを捕まえることができ、トンボに勝った気分になりました。(子)

帰ってきてから、小さな虫博士になっていて虫の触り方や捕まえ方をみんなに話していました!私も知らない事がたくさんあって話を聞いているだけで楽しかったです。毎日、虫網を持って虫取りを頑張る息子を見て、参加できてよかったと感謝しています。(親)

先生のお話がとても興味深く楽しかったです。久しぶりに学生に戻った気分でした。私としてはもう少し詳しく聞きたかったのですが、子どもの集中力を考えるとちょうどよかったのかなと思います。罠はさっそくかけて毎日ワクワクしながら楽しんでいます。ありがとうございました。(親)

自然の中で虫取りするのは、親としてもとても楽しかったです。子ども、特に姉は虫が苦手になりつつあるところでしたが、キイトンボは可愛らしく、平気だったのが嬉しかったです。まだまだ夏休みは続くので、また親子で罠を仕掛けにいきたいと思います。ありがとうございました。(親)